



地域社会の一員として

当社の企業活動は常に地域社会と共にあります。地域社会との信頼関係を地道に積み重ねていくことが、社会への貢献につながるとの認識のもと、全国各地の事業拠点で様々な活動に参画しています。また学生や地域の方々を対象とした現場見学会の開催などにより、建設業の役割と魅力を伝える取り組みを行っています。



東北支店



広島支店



大阪支社



名古屋支店

◆ 地域の清掃活動に参加

支社・支店や作業所周辺を中心に、全国各地の清掃活動に積極的に参加しています。

大阪支社では大阪マラソンの開催に先立ち、大阪支社周辺の清掃活動を行いました。そのほか東北、東京、名古屋、広島の各支社店でも清掃活動を積極的に行っているほか、各地域の清掃イベントにも参加しています。また各作業所でも周辺地域の清掃活動を行っています。

◆ 献血への協力

輸血を必要とする患者さまの尊い命を救うための献血支援活動を行っています。

大阪支社では社屋内で年2回団体献血を行っており、輸血を必要とする患者さまに血液をお届けしています。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策等を講じた上で活動を継続してまいります。



国道6号 勿来トンネル工事作業所(福島県)

◆ 各地で現場見学会を開催

学生や地域の方々に建設業の魅力や役割を広く理解していただくことを目的に、各地域で現場見学会を積極的に開催しています。地域のインフラ整備、防災、災害復興など建設業の社会的意義をご理解いただくとともに、当社の技術力やものづくりに対する真摯な姿勢をご覧いただき、建設業に対する魅力を肌で感じていただけるよう各種の取り組みを行っています。また若い世代の方々に実際の建設現場を見ていただき、魅力を感じていただくことで、将来の担い手確保に向けた一助となることを期待しています。



◆ 企業訪問学習の受け入れ

学生の企業訪問学習を受け入れ、建設業の魅力や社会的な役割を理解していただくための取り組みを行っています。2023年4月には宮城県の中学生4名が東京支社を訪問し、当社社員が建設業の社会的な役割や過去の経験談や仕事のやりがいについて説明を行いました。



新名神高速道路 高槻高架橋東(下部工) 工事作業所(大阪府)



なにわ筋線西本町駅部土木工事作業所(大阪府)



◆ 展示会・講演会で研究開発の成果を発表

当社の技術研究・技術開発の成果をメディアやイベントで発信しています。2022年11月に池袋サンシャインシティで開催された「建設技術展2022関東」に出展し、当社開発技術をPRしたほか、福岡市交通局様の「技術講演会」では当社技術本部長と当社九州支店社員(地下鉄工事作業所副所長)が講師を務め、シールド工法について講演をさせていただきました。

地域社会の一員として



◆ 地域の安心のための見守り活動に参加

大阪支社は大阪府西警察署より「防犯ボランティア」を委嘱いただいております。大阪支社が所在する西本町・阿波座エリアの小学生を合同で見守る「子どもみまもり活動」を行っているほか、交通安全指導や夜間防犯パトロールなどの町会の活動にも参加し、地域の安全への貢献を目指しています。



◆ 伝統行事「博多祇園山笠」に協賛

九州支店では、国の重要無形民俗文化財である「博多祇園山笠」に毎年協賛しており、「勢水」と駐車場スペースを提供しています。2022年にはコロナ禍で延期されていた「昇き山」が3年振りに開催され、豪華絢爛な山笠が男衆に担がれ、博多の街を駆け抜けました。

主な社外表彰



遠藤克彦氏の設計により当社が施工した「大阪中之島美術館」が、公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) が表彰する「JIA優秀建築選」において、「2022年度JIA日本建築大賞」に選ばれました。

JIA日本建築大賞は、特に建築文化の向上に寄与し、芸術・技術の両面において総合的な価値を發揮した建築について、我が国の現代建築を代表するその年の最も優れた作品として表彰する賞です。

本建物の設計は国内外から集まった設計提案によるコンペによって遠藤克彦建築研究所の提案が選ばれ、当社を代表とする共同企業体が施工を担当しました。

2022年度 JIA日本建築大賞 大阪中之島美術館

契約先: 大阪市都市整備局
設計・監理: 遠藤克彦建築研究所
大阪市都市整備局
施工: 銭高・大鉄・藤木特定建設工事共同企業体



第4回
神戸市都市デザイン賞
建築デザイン部門
Stage Felissimo
建築主: 株式会社フェリスモ
設計者: 石本建築事務所
Eight Inc.
施工者: 銭高組



令和4年度 土木学会技術賞 (IIグループ)
「将来を見据えた
小又川新水力発電所建設」
事業主: 三菱マテリアル株式会社
東北電力所
小又川新発電所建設工事
施工者: 清水建設・
銭高組共同企業体

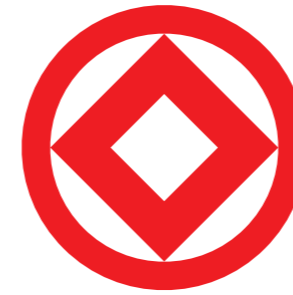


令和3年度
岡山市景観まちづくり賞
建築物部門
就実大学・就実短期大学
A館・D館
建築主: 学校法人就実学園
設計者: 教育施設研究所
施工者: 銭高組



無災害表彰
京都市受託 府道宇治淀線
淀高架橋 (京阪電鉄跨線区間)
補修工事 (1工区)
京阪電鉄工務部安全衛生協力会
会長 土岐 弘一様

「銭形平次」誕生秘話



得意技の投げ銭で悪を討つ岡っ引「銭形平次」の活躍を描いた傑作小説シリーズが、野村胡堂氏の『銭形平次捕物控』です。この銭形平次誕生のヒントとなったのが、当社の社名と社章でした。

文藝春秋から「岡本綺堂の半七捕物帳のような小説を」と依頼された胡堂氏の創作のヒントとなったのが、窓の外に見えた建設現場の「設計 施工 銭高組」の看板と社章。ポン、と膝をたたいて得意技の投げ銭がまず決定。名前は「銭高」の「タカ」を逆にして「ゼニカタ」。こうして1931(昭和6)年に生まれたのが『銭形平次捕物控』でした。

誕生以来27年間で383編の物語が発表され、テレビドラマ等にも多数翻案されました。さらにはアニメ『ルパン三世』に登場する「銭形警部」のモデルになるなど、銭形平次は時代を超えて多くの人々に親しまれています。

会社概要

社名	株式会社 銭高組	事業内容	1.建設工事の請負、企画、設計および監理
本社	東京都千代田区一番町31番地		2.建設に関する開発事業ならびにこれに関する調査、企画、設計および監理
本店	大阪市西区西本町2丁目2番4号		3.不動産取引業
代表者	社長 銭高 久善		4.建設材料の加工および販売
創業	1705(寶永2)年9月18日		5.前各号に附帯する事業ならびにこれに関する一切の業務
創立	1887(明治20)年2月1日	事業比率	土木22%、建築76%、不動産2% (2023年3月31日現在)
設立	1931(昭和6)年4月10日(株式会社銭高組に改組)		
資本金	36.95億円		
純資産	766億円(2023年3月31日現在)		
従業員数	906名(2023年3月31日現在)		

CSR報告書2023の 編集方針と基本要件

■ 編集方針

本報告書は、銭高組の事業活動について報告することにより、事業内容および社会的責任への取り組みについてご理解いただくことを目的としています。

■ 対象範囲

銭高組 本社・本店および支社・支店

■ 対象期間

2022年度(2022年4月～2023年3月)
※一部2021年度および2023年度の活動も含んでいます。

■ 参考にしたガイドライン

環境省 環境報告ガイドライン(2018年版)
ISO26000 社会的責任に関する手引き(2010年版)

※本書に記載の内容・情報は2023年7月時点のものです。